

1 日本語領域 「読書論」

出題意図

- (1) 図や表も含めて、日本語を使った情報を読み、理解し、推論し、表現する力を広く測ることを目的とする。
- (2) 現代文（評論、実用文、小説など）の分野から題材を取り、その題材が扱うテーマとかかわるデータを表やグラフの形で資料として添付する。
- (3) 学力を多面的に測るために、多種多様な問を設ける。
- (4) 学力差を的確に測るために、平易なものから比較的難しいものまで、出題の難易度に幅が出るようにする。
- (5) 100字前後という少量の自由記述式の問を設けているのは、理解力、推論力、表現力を測定するとともに、主観的な記述や評価をできるだけ避けるという意図による。
- (6) 各設問がどのような能力を測ろうとしているかに関しては、下の表に従って分類した。この表は大学入試センター研究開発部が作成した、「作題ガイドライン」を参考に行っている。

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/pbsj/45/0/45_240/_pdf 2023.09.28 にアクセス)

言語的能力（日本語）	
J ₁ ：知識・技能	漢字書き取り、語句・ことわざの意味説明など。
J ₂ ：情報把握	細かい情報も含め、資料の情報を正しく読み取る。
J ₃ ：内容理解	資料全体の内容を理解し、再構成や解釈をする。
J ₄ ：帰納的推論	資料の情報から傾向や特徴を読み取る。
J ₅ ：演繹的推論	所与の前提から論理を展開し、他に当てはめる。
J ₆ ：仮説的推論	事象の背景・原因を推測したり、事象を評価・判断したりする。
J ₇ ：構成と表現	文章を適切にまとめる。

出題した資料

資料(A)：文豪ゲーテの代表作の冒頭部分。この世界の本質を理解しようとする 것과学問との相克についての独白である。リード文を付けて舞台設定が理解できるようにした。

資料(B)：哲学研究において読書の重要性が主張されている。資料(A)と対になるように、リード文を付した。

資料(C)：現代日本人の読書行動について、文化庁による世論調査の集計を活用した。

資料(A)～(B)間の時代や社会の変化に橋渡しするため、学生Dが書いたとされるレポートを設問の中に挿入した。

解答，解答例，採点項目，配点，測定する能力

問 1 J₁：知識・技能

【解答】

(あ) よろこ，(い) ふせん，(う) いぶか，(え) はば，(お) がいこつ

問 2 J₁：知識・技能

【解答】

(ア) 地獄，(イ) 華，(ウ) 啓示，(エ) 拾，(オ) 特殊

問 3 J₂：情報把握

【解答】

資料(A)の内容のみに合致するもの ④，⑥，⑧，⑩

資料(B)の内容のみに合致するもの ⑤，⑦

資料(A)・(B)の両方の内容に合致するもの ①，③

資料(A)・(B)の両方の内容に合致しないもの ②，⑨

問 4 J₂：情報把握，J₃：内容理解

【解答例】

正確に読む

問 5 J₃：内容理解

【解答】

学生運動 …… がある。

「**学生運動**の最盛期に大学院の学生たちが，もう西洋の哲学者が昔書いた本を読むなんてことをしている時代ではない，自分の言葉で自分の思索を展開することこそが哲学だ，と言い出したことが**ある**。」

問 6 J₃：内容理解

【解答】

そこでお …… たのだ。

「**そこ**でおれは精霊の力と言葉とを通じて，いろいろな秘密が啓示されやしないかと思い，魔法に身をゆだねてみた。そうすればおれも大汗をかきながら，自分の知りもせぬことを言う必要もなくなり，世界をその最も奥深いところで統べているものをこれぞと認識することもでき，一切の作用をひき起す力と種子とを観照し，もはや言葉の詮索をすることもいらなくなると**思ったのだ**。」

【出題意図】

基礎的な英語力を前提として、受験者が、(i) 与えられた時間内に一定分量の英文を正確に読むことができる「英語読解力」および (ii) 平易な語彙と文法を用いた「英語表現力」を備えているかを問う。

これらの力は、本学入学後に、専門とする学問領域に対する理解を深め、自らの研究や実践の成果を積極的に発信する上で求められるばかりでなく、多様な文化的背景を持つ人びとと英語を共通言語としてコミュニケーションを図り、さらには、そういった人びとと将来にわたって協働していく技術や態度を身につける上で、必要不可欠な英語（言語）運用力の構成要素であると考える。

【解答例と配点】

- | | |
|-----|--|
| 問 1 | to |
| 問 2 | How could the world be a better place |
| 問 3 | to understand |
| 問 4 | What do you think will be most important |
| 問 5 | whose |
| 問 6 | surprised |
| 問 7 | 8 |

問 7

(1) J₆ : 仮説的推論

【解答】

①

(2) J₅ : 演繹的推論, J₆ : 仮説的推論, J₇ : 構成と表現

【解答例】

「図 4 によると, 20 代から 30 代は電子書籍の方を多く利用する人の割合が大きく, この世代は歳を取ってもその割合が下がらないと考えるから。また, 10 代のその割合が小さいが, 20 代になると上がると考えるから。」(96 字)

- ① 20 代から 30 代は電子書籍の方を多く利用する人の割合が大きい
- ② 将来①の割合は下がらないという予想
- ③ 10 代は電子書籍の方を多く利用する人の割合が大きい
- ④ ③の割合は 20 代になると上がるという予想

(3) J₂ : 情報把握, J₃ : 内容理解

【解答例】

「読書するときの媒体の違いが, 感性や思考に影響を与えるかもしれない」
「インターネットを介して世界とつながることができる」
「インターネットを介して虚構と現実とも判別しにくい空間を行き来できる」

(4) J₃ : 内容理解, J₅ : 演繹的推論, J₇ : 構成と表現

【解答例】

「インターネット上の情報を拾って組み合わせただけのサワリ集を作るだけで, まったく思索しなくて済むのであり, 妄想のたぐいが広がるばかりで, ものを考える修練にはならず, 筋の通ったよい論文は書けない。」(94 字)

- ① 情報を組み合わせただけのサワリ集になる
- ② 思索しなくて済む
- ③ 妄想のたぐいが広がる
- ④ 考える修練にならない
- ⑤ 筋の通ったよい論文は書けない

3 解答

[問 1] 最大値：1 ($x = 0$), 最小値：-8, ($x = 3$)

$y = x^2 - 6x + 1 = (x - 3)^2 - 8$ より $x = 3$ で最小値 -8 を取る。 $x = 3$ から一番遠い点で最大値となるので $x = 0$ で最大値 1 を取る。

[問 2] 証明は以下の通り

相加相乗平均の大小関係より $ab + \frac{4}{ab} \geq 2\sqrt{ab \cdot \frac{4}{ab}} = 2\sqrt{4} = 4$ より $\left(a + \frac{2}{b}\right)\left(b + \frac{2}{a}\right) = ab + \frac{4}{ab} + \frac{2b}{b} + \frac{2a}{a} = ab + \frac{4}{ab} + 4 \geq 4 + 4 = 8$ となることが示せた。

[問 3] $\theta = \frac{\pi}{4} : \sqrt{2}$, $\theta = \frac{\pi}{12} : \frac{\sqrt{6}}{2}$

$\theta = \frac{\pi}{4}$ についてはそのまま代入すればよい。 $\theta = \frac{\pi}{12}$ の場合は $\theta = \frac{\pi}{4} - \frac{\pi}{6}$ とおいて計算するか、 $(\sin \theta + \cos \theta)^2$ を計算して二倍角の公式を用いるか、三角関数の合成を用いて $\sin \theta + \cos \theta = \sqrt{2} \sin(\theta + \frac{\pi}{4})$ を用いて計算するなど複数の方法があるので部分点を考慮する際には留意すること、

[問 4] $\frac{125}{6}$

交点の x 座標を $x^2 - x - 12 = 2x^2 - 12x + 12$ を解いて求める。これより $x^2 - 11x + 24 = (x - 3)(x - 8) = 0$ より $x = 3, 8$ となる。これより求める面積は $\int_3^8 (x^2 - x - 12) - (2x^2 - 12x + 12) dx = \int_3^8 (-x^2 + 11x - 24) dx = \left[-\frac{1}{3}x^3 + \frac{11}{2}x^2 - 24x\right]_3^8 = \frac{125}{6}$

[問 5] $S_n = \frac{n}{2n+1}$

$a_n = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{2n-1} - \frac{1}{2n+1} \right)$ なので打ち消しあう項と残る項を考えると $S_n = \frac{1}{2} \left(1 - \frac{1}{2n+1} \right) = \frac{n}{2n+1}$ となる。

[問 6] $t = 0, 1$

$2t^2 - 2t = 0$ より $2t^2 - 2t = 2t(t - 1) = 0$ つまり $t = 0, 1$

[問 7(a)] **(選択問題)** 証明は以下の通り

n が 3 の倍数であることから整数 k を用いて $n = 3k$ と表される。これより $n^2 + 3n = n(n + 3) = 3k(3k + 3) = 9k(k + 1)$ となる。ここで $k(k + 1)$ は連続する二つの数の積なので 2 の倍数となる。9 の倍数かつ 2 の倍数であるので $n^2 + 3n$ は 18 の倍数となる。